

食品安全委員会の3月の運営について（報告）

1. 食品安全委員会の開催

第229回 3月6日（木）

(1) 食品健康影響評価の要請

- 以下の案件についてリスク管理機関から説明

農薬(5品目)	カズサホス、スピネトラム、1, 3-ジクロロプロペン、シクラニリド、トリフルスルフロンメチル
---------	--

(2) 各専門調査会における審議状況についての報告

- 各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

農薬専門調査会	メタミドホス
動物用医薬品専門調査会	豚サーコウイルス(2型)感染症不活化ワクチン(油性アジュバント加懸濁用液)(サーコバック)

(3) 食品安全委員会の2月の運営について報告

第230回 3月13日（木）

(1) 食品健康影響評価の要請

- 以下の案件についてリスク管理機関から説明

農薬(11品目)	アシフルオルフェン、アミノエトキシビニルグリシン、クロルエトキシホス、酸化プロピレン、トリブホス、ヒドラメチルノン、フェンチン、Sec-ブチルアミン、プロディファコウム、ベノキサコール、ベンダイオカルブ
動物用医薬品/飼料添加物(1品目)	オラキンドックス
動物用医薬品(8品目)	エプリノメクチン、豚オーエスキー病(gI-, tk-)生ワクチン(ポーシリス Begonia IDAL・10、ポーシリス Begonia IDAL・50)、オメプラゾールを有効成分とする馬の強制経口投与剤(ガストロガード)、トルトラズリルを有効成分とする牛び豚の強制経口投与剤(牛用バイコックス、豚用バイコックス)、マイコプラズマ・ガリセプチカム感染症生ワクチン(ノビリスMG 6/85)、マイコプラズマ・ガリセプチカム感染症生ワクチン(“京都微研、ポールセーバー MG)、マイコプラズマ・ガリセプチカム感染症凍結生ワクチン(MG生ワクチン(NBI))、トリレオウイルス感染症生ワクチン(ノビリス Reo 1133)

(2) 各専門調査会における審議状況についての報告

- 各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

添加物専門調査会	亜塩素酸水
農薬専門調査会	ベンフレセート
動物用医薬品専門調査会	フルニキシメグルミンを有効成分とする牛の注射剤(フォーベット50注射液)

(3) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

添加物(1品目)	L-グルタミン酸アンモニウム
農薬(4品目)	ジメトモルフ、ベンゾピシクロン、ベンチアバリカルブイソプロピル、メフェナセツ
動物用医薬品(2品目)	プロチゾラム、プロチゾラムを有効成分とする牛の注射剤(メデランチル)

(4) 「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等(平成20年2月分)について報告

第231回 3月27日(木)

(1) 食品安全基本法第11条第1項第1号の食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときについてリスク管理機関から照会

- ・食品衛生法(昭和22年法律第233号)第11条第1項の規定に基づき定められた、食品、添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)第1食品の部D各条の「寒天」のハウ酸の試験法を削除する場合について、食品安全基本法第11条第1項第1号の食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときに該当すると確認された。

(2) 食品健康影響評価の要請

- ・以下の案件についてリスク管理機関から説明

農薬(17品目)	クロラントラニプロール、TCMTB、イプロバリカルブ、エタルフルラリン、塩酸ホルメタネート、クロランスラムメチル、シフルフェナミド、スルホスルフロン、ノルフルラゾン、ピメトロジン、ピリデート、ブタミホス、フッ化スルフルル、ベンスルフロンメチル、ベンフルラリン、ミクロブタニル、メプロニル
食品衛生法第11条第3項の規定に基づき、人の健康を損なうおそれのないことが明らかであるものとして厚生労働大臣が定める物質(1品目)	アスコルビン酸
飼料添加物(2品目)	L-アスコルビン酸ナトリウム、タウリン

(3) 各専門調査会における審議状況についての報告

- ・専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

動物用医薬品専門調査会	塩酸ピルリマイシンを有効成分とする乳房注入剤(ピルスー)
-------------	------------------------------

(4) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

添加物(2品目)	バレルアルデヒド、イソバレルアルデヒド
農薬(1品目)	オリサストロビン
動物用医薬品(2品目)	鶏サルモネラ症(サルモネラ・エンテリティディス・サルモネラ・ティフィリウム)(アジュバント加)不活化ワクチン("京都微研"ポールセーバーSE/ST)、ピルリマイシン

- (5) BSE 対策に関する調査結果等について厚生労働省からの報告
- (6) 平成20年度食品安全委員会運営計画について決定
- (7) 平成20年度食品安全モニターの依頼について報告

2. 専門調査会の運営

(1) 緊急時対応専門調査会

第24回 3月24日(月)

- ・ 平成19年度緊急時対応訓練について報告
- ・ 食品安全委員会食中毒等緊急時対応実施指針に基づく対応について審議
- ・ 緊急時対応のための情報の収集、分析、提供のあり方について審議

(2) 添加物専門調査会

第56回 3月24日(月)

- ・ ①「ウッドロジングリセリンエステル」及び②「ステアロイル乳酸ナトリウム」について調査審議

(3) 農薬専門調査会

第37回 幹事会 3月5日(水)

- ・ ①「オリサストロビン」、②「ジメトモルフ」、③「ベンチアバリカルブイソプロピル」及び④「ベンフレセート」について調査審議し、④に関し、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

第20回 総合評価第一部会 3月5日(水) ※非公開

- ・ ①「スピノサド」及び②「プロスルホカルブ」について調査審議し、①に関し、評価書案を幹事会に報告することを決定

第12回 確認評価第二部会 3月7日(金)

- ・ ①「アセトクロール」及び②「トリルフルアニド」について調査審議し、②に関し、評価書案を幹事会に報告することを決定

第13回 確認評価第三部会 3月25日(水) ※非公開

- ・ ①「グルホシネート」及び②「フェリムゾン」について調査審議し、②に関し、評価書案を幹事会に報告することを決定

第38回 幹事会 3月31日(月)

- ・ ①「ジクロルミド」、②「ハロスルフロンメチル」、③「フェンアミドン」及び④「ブプロフェジン」について調査審議し、①～④に関し、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

第20回 総合評価第二部会 3月31日(月) ※非公開

- ・ ①「フルセトスルフロン」及び②「ピリミスルファン」について調査審議し、①に関し、評価書案を幹事会に報告することを決定

(4) 動物用医薬品専門調査会

第90回 3月25日(火)

- ・ ①「マイコプラズマ・ガリセプチカム感染症生ワクチン(ノビリス MG 6/85)」、②「マイコプラズマ・ガリセプチカム感染症生ワクチン(“京都微研,, ポールセーバーMG)」、③「マイコプラズマ・ガリセプチカム感染症凍結生ワクチン(MG 生ワクチン(NBI))」、④「トリレオウイルス感染症生ワクチン(ノビリス Reo 1133)」、⑤「ふぐ目用魚類用フェバンテルを有効成分とする寄生虫駆除剤(マリンバンテル)」及び⑥「バルネムリン」について調査審議し、①～⑥に関し、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

第91回 3月25日(火) ※非公開

- ・ ①「豚オーエスキー病(gI-, tk-) 生ワクチン(ポーシリス Begonia IDAL・10, ポーシリス Begonia IDAL・50)」及び②「トルトラズリルを有効成分とする牛の経口投与剤(牛用バイコックス)及び豚の経口投与剤(豚用バイコックス)」について調査審議し、①及び②に関し、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

(5) 微生物・ウイルス専門調査会ワーキンググループ

第2回 3月3日(月)

- ・ 「鶏肉を主とする畜産物中のカンピロバクター・ジェジュニ/コリ」について審議

(6) プリオン専門調査会

第49回 3月26日(水)

- ・ 我が国に輸入される牛肉及び牛内臓に係る食品健康影響評価(自ら評価)について調査審議

(7) 遺伝子組換え食品等専門調査会

第59回 3月17日(月)

- ・ 「遺伝子組換え食品(微生物)の安全性評価基準」について調査審議し、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

第60回 3月17日(月) ※非公開

- ・ ①「チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMIR162系統(食品・飼料)」及び②「パパイヤリングスポットウイルス抵抗性パパイヤ55-1系統(食品)」について調査審議

(8) 新開発食品専門調査会

第2回ワーキンググループ 3月12日(水)

- ・ ワーキンググループ座長の選出
- ・ 「アガリクスを含む製品に係る安全性」について調査審議

3. 意見交換会等の開催

(1) 意見交換会

食品のリスクコミュニケーションに関する国際ワークショップ

3月4日(火)、3月5日(水) <東京都千代田区>

- ・ 1日目の3月4日の午前は、食品安全委員会事務局、栃木県及び東京都から、地方におけるリスクコミュニケーションの実際取組と今後の課題について講演を行い、午後は、カナダ及びオランダの食品安全機関担当者から中央政府と州政府、地域政府の関係やEU及び加盟国における協力体制及びコミュニケーションの実例等について講演
- ・ 2日目の3月5日の午前は、2名の有識者からコミュニケーションのツール等について講演が行われ、午後は総合的なディスカッションを実施

食品のリスクコミュニケーション—食品中の鉛について考える—

3月19日(水) <東京都千代田区>

3月26日(水) <大阪府大阪市>

- ・ 食品安全委員会の主催で開催し、鉛の性質や体内に摂取した場合の健康影響など、鉛に関する基礎的・科学的内容についての専門家からの講演等の後、各講演者らと会場参加者との意見交換を実施

(2) 食品の安全性に関する地域の指導者育成講座

3月4日(火) <兵庫県神戸市>

- ・ 食品安全委員会と兵庫県の共催で開催し、食品安全委員会事務局職員から「食品安全のためのリスク分析(食品のリスクとのつきあい方)」と題して講義を行った後、参加者がグループに分かれてゲーミングシミュレーションによるコミュニケーション能力を高めるための演習を実施

(3) 食品の安全性に関するリスクコミュニケーター育成講座

3月5日(水) <北海道札幌市>

- ・ 食品安全委員会と北海道の共催で開催し、午前は、内閣府食品安全委員会事務局が制作した、リスク分析と食品安全委員会の役割について説明したDVD上映と、神戸まちづくりワークショップ研究会代表世話人西修氏よりファシリテーションの基礎知識に関する講義の後、参加者がファシリテーションの基本的なスキルのいくつか(傾聴など)について実習を実施。午後は、参加者がグループに分かれ、自己紹介でアイスブレイク(初対面の参加者同士の抵抗感をなくしコミュニケーション促進のために行うものであり、様々な手法がある)をした後、ワークショップのいくつかの手法を体験

4. その他

- 季刊誌「食品安全—共に考えよう、食の科学—Vol.16」を発刊